



まなびやまと

No.9

平成17年(2005年)2月
大和市教育委員会

わたしたちのまちの憲法 「自治基本条例」紹介の取り組み



配付リーフレット

教育委員会では、昨年10月7日に公布され、今年4月1日から施行される「大和市自治基本条例」を子どもたちに分かりやすく紹介するリーフレットを作成し、市立小中学校の児童生徒約1万7千人に配付しました。

配付したリーフレットは、「わたしたちのまちの憲法―大和市自治基本条例ができました!―」のタイトルで、まず自治基本条例とは市の条例の中でも最も重要なルールであることを説明し、第9条「市民の権利」、第10条「市民の責務」、第11条「子ども」、第31条「住民投票の請求等」の条文を掲載しました。特に、住民投票の解説と共に住民投票

の実施を求める権利と投票する権利を常に16歳以上の住民に与えるのは全国で初めてであることを紹介し、自治基本条例の前文も掲載しました。

教育委員会では、市内に住む子どもたちすべてが、市の憲法といえる自治基本条例を制定したことを知るとともに、まちづくりの一員としての自覚を持ってほしいという願いを込め配付しました。

12月8日には光丘中学校で、市役所分権強化推進担当の職員を招いて、「自治基本条例」の必要性や概要の説明の授業を行い、生徒たちの理解を深めました。

自治基本条例についての授業



情報化社会の進展と共に、子どもたちを取り巻く情報の取り扱いが現在大きな問題になってきています。

教育委員会では毎年市内小中学校の情報教育担当の教員を対象に、情報教育に関する研修を実施しています。

大和

平成15年度からは新たに「情報モラル」をテーマに設け、金沢大学助教授中川一史先生から講演や指導をいただいています。

今年度は「情報モラルの授業は、なぜ必要なの?」



福原教諭の授業



金沢大学 中川一史助教授講話

授業後は中川先生をコーディネートするために迎え、「情報モラル」をテーマに様々な話し合いを行いました。研修の成果は、各学校での指導に活かされます。

というテーマで、市立中学校の福原剛一教諭の授業を参観した後、研究協議を行いました。

授業では、グループウェアソフトの掲示板機能を利用して、6つの役割を生徒が分担し、それぞれ掲示板に書き込みをしました。感想を述べ合う中でよりよいコミュニケーションづくりのたのしみがありました。



情報教育



情報教育に関する情報交換

福原教諭からは「ネットワークの利便性を損なわないようにしつつ、ネットの向こうにいるのは人間であることを常に考え、よりよいコミュニケーションを築きたい」という思いで利用することが大切である」という話がありました。

歯・口の健康づくり推進指定校

大和東小学校では、文部科学省の「歯・口の健康づくり推進指定校」として2カ年の指定を受け、保健指導を見直しながら、教育活動全体を通しての健康づくりの実践を行ってまいりました。

大和東小学校

近年、私たちの公衆衛生に対する関心は非常に高いものがあります。また、医療技術の進歩に伴い、平均寿命も大幅な伸びを示しています。しかしながら一方では、生活習慣病等、新たな疾病も私たちの健康な生活を脅かしています。口腔保健も例外ではなく、歯周病等を中心にその病気にかかる率も生活構造の変化に伴って増加の危険にさらされています。



3年生



2年生



6年生



4年生

授業風景

大和東小学校では、文部科学省の「歯・口の健康づくり推進指定校」として2カ年の指定を受け、保健指導を見直しながら、教育活動全体を通しての健康づくりの実践を行ってまいりました。

大和東小学校



授業風景

学力向上フロンティアスクール

大和市立引地台中学校

11月24日（水）に平成15・16年と「学力向上フロンティアスクール」の指定を受けて、研究を推進してきた引地台中学校で県下の教職員を対象とした研究発表会が行われました。

今回の研究発表は、「授業方法の改善」のための四つの視点、「出会い、考える、学び合い、振り返り」を中心に、授業の創造に取り組むための工夫や改善を内容として行われました。



授業風景



が丸となって「生徒の確かな学力の定着」をめざした実践研究を進めていきます。

今、学校教育において「心の教育」のあり方が厳しく問われ、その核となる道徳教育の一層の充実を図ることが求められています。

神奈川県公立中学校教育研究会

道徳教育部会研究大会

「自ら学び、自ら考える力を育てる道徳教育」

大和市立上和田中学校

そのような中で、11月17日（水）に大和市中学校教育研究会道徳部会が中心になり研究してきたことを受けて、上和田中学校で授業が公開されました。

道徳教育の目標は、「道徳性」の涵養にあります。これは、人格の基盤をなす人間らしいよさの育成であり、人間として共によりよく生きていこうとする意欲を育み、「生きる力」を育てることでもあります。価値観の多様化した現代社会にあつて、中学生は、青少年前期で心身ともに発達も著しく、一人ひとりの「道徳性」の発達にも違いがみられます。

研究主題は「自ら学び、自ら考える道徳教育」話

神奈川県教育委員会研究委託

「小学校英会話活動研究校」

大和市立渋谷小学校



社会のさまざまな面でグローバル化が進んでいます。子どもたちが21世紀をたくましく生き抜くには英語でのコミュニケーション能力が必要であると考え、文部科学省は平成14年7月に「英語が使える日本人」の育成のための戦略「構想」を発表しました。また、平成15年3月には行動計画もつくられ、具体施策もスタートしています。

現在、小学校における英語教育は学校現場での関心事の一つです。平成16年より神奈川県において、「小学校英会話活動研究校」を募り、小学校における英会話活動のあり方を研究しています。

本市においては、平成16・17・18年度「英会話活動研究校」になった渋谷小学校が、NHK学校放送番組「えいごリアン」の番組企画委員であり、中部学院大学客員教授である久埜百合先生の指導を受けて、実践授業を行い、研究を深めています。

小学校英会話活動の授業に子どもたちは楽しく取り組んでいます。



神奈川県教育委員会研究委託

子どもキラキラタイム 実践研究拠点校

大和市立西鶴間小学校



最近の子どもたちについては、加齢に伴って運動やスポーツをする子としない子の二極化が進む傾向が報告されています。

また、学校内でも朝や業間休み、昼休み、放課後に外遊びをしない子

どもがあり、子どもたちの体力低下が心配されています。

そこで、神奈川県では子どもが自ら遊びや運動、スポーツに親しむための機会の拡大と習慣化をめざした「子どもキラキラタイム」を県内すべての小学校で実践し、体育の時間や特別活動はもとより、学校の教育活動全体を通じて健康・体力づくりの実践を図ることにしました。大和市では西鶴間小学校が、県内50校の健康・体力づくり拠点校の1校となり、実践研究を行っています。

西鶴間小学校では、次の2点に重

点を置いてキラキラタイムに取り組んでいます。

①よりよい人間関係づくり

②子どもが自ら遊びや運動・スポーツに親しむための機会の拡大と習慣化

今年度は、スマイル活動（異年齢縦割り集団）、休み時間の設置（30分休み）、体育授業の工夫、集団遊び学習会、PTA



との共催で講演会&ホームルームを通して目標の具現化を試みました。

次年度は、さらにキラキラタイムを通して学校の教育目標「かしこく・やさしく・たくましく」知・徳・体の充実をめざします。

大和市教育委員会研究委託

大和市立南林間小学校

「豊かな学びをめざして」

豊かな学びを醸成する表現活動の工夫

研究発表日 平成17年2月4日



大和市教育委員会研究委託

大和市立上和田小学校

「つくれ！子ども世界」

情報社会に生きる子どもたちの主体的な学習をめざして

平成16年10月29日 研究発表終了

（詳細は、3月発行の教育研究所報に掲載予定）

豊 かな 体 験

5年総合的な学習の時間

田んぼづくりの実践

大和市立柳橋小学校

柳橋小学校の子どもたちは、校庭の一角にある畑で、1年間を通していろいろな作物を栽培しています。昨年5月には職員全員で、長さ7m幅2mの田んぼを造り、5年生が稲の栽培を始めました。

「米」と書いて「八十八」といわれる由来が、「八十八」の手間がかかるからこそ立派なお米ができるということから、

児童にその実感を体験させるために、児童による「稲の実行委員」が中心となり活動しました。今年のお米の収穫量は、玄米で約6kgでしたが、田植えから夏休み前の肥料やり、稲刈り、精米まで、たくさんのお作業を通して、農家の人の苦勞が伝わる活動でした。

1年間の活動を振り返った児童からは、「米作りの苦勞から、これからは、もっと米を大切にしたい」との感想が寄せられました。



田植え



田んぼ全体



稲刈り



脱穀

福祉教育講演会

大和市立
桜丘小学校



講演会の様子

桜丘小学校では、毎年、子どもたちの福祉に対する意識を高めるため、福祉教育の一環として「福祉教育講演会」を催しています。ここ数年は、視覚障害者の方や、肢体不自由の方の話を聞いたり、ボランティアに関わっている方の話を聞いたりしてききました。

今年度は、「福祉と共生について」というテーマで、わかば学園 諏訪利明園長の話を聞きました。

講演後、児童からは、「障害のある人は、特別にかわいそうだと思っていたが、かわいそうと思うことより、行動をおこして助けたり、その人のためにできることをすることが大切だと思った。」という感想が多くありました。

同校は市内で一つの肢体不自由障害児学級があり、友だちへの接し方に気を配りながら、自然に楽しく学校生活が過ごせるように努めています。

ドッジボール大会

大和市立渋谷小学校



渋谷小学校では、児童会が主催する行事の一つに「休み時間集会」があり、その中で「ドッジボール大会」が行われています。

同校では、この大会の前だけでなく、ふだんから校庭でドッジボールをして遊ぶ児童の姿が多く見られます。



大会は学年内のクラス対抗トーナメント戦で行われます。審判や計時係は、児童会運営委員と体育委員が担当します。予選から決勝までわずか一週間程度の大会ですが、どのクラスも熱くなる愁悃例の入部1ツ行事となっており、外で遊ぶ子どもたちが益々増えていくことが期待されます。

教育委員会では、現在、学校教育基本計画策定に向けた準備を行っております。昨年、市内小中学校から抽選校を選び、児童生徒及び保護者、教員を対象とした「教育に関するアンケート」を実施しました。さらにアンケートの結果及び学校教育基本計画についての「ご意見等」を広く市民の方からお寄せいただくことを、教育委員会として考えております。詳しくは3月中旬に市ホームページにてご案内いたしますので、「ご意見等」をお寄せいただくと幸いです。

